

令和3年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	18	議席 番号	17	氏名	稲葉晃司 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1	富士医療圏の現状と課題、そして今後～地域医療を守るために2021～			<p>(1) 富士市立中央病院で発生したクラスターは富士医療圏域にどのような影響を及ぼしたのか。とりわけ富士宮市立病院における影響はどのようなものか。</p> <p>① 外来診療や入院患者数はどのように変わったのか。</p> <p>② 医療現場において医療従事者たちの職場の環境は万全か。</p> <p>③ 富士宮市立病院における新型コロナウイルス感染症対策はどのように行われているのか。例えば石川県、加賀市医療センターは紫外線222nm（ナノメートル）ウイルス制御・除菌装置を導入し、飛沫感染や接触感染のリスクが高い受付カウンター、再来受付機、精算機周辺をはじめ発熱・救急待合に設置され、感染拡大防止対策を施している。富士宮市立病院では市民から安心していただけるためにどのような取組がなされているのか。</p> <p>④ 富士宮市立病院でクラスターが発生した場合の対応はどのようになるのか。また、危機管理はどのように行われているのか。</p> <p>⑤ PCR検査の状況について、積極的に検査等が行われているのか。また、検査数の推移はどのようになっているのか。</p> <p>⑥ 富士市議会11月定例会における富士市立中央病院長の発言の中で「近隣の病院の協力が必要」とあったが、具体的にどのような協力が必要とされているのか。</p> <p>⑦ 新型コロナウイルス感染症について富士保健所、富士市、富士宮市の連絡調整等はどのように行われているのか。また、情報提供の方法については今のままでよいのか。 県内で変異種が発生した際に、川勝県知事が記者会見を行った。富士宮市は保健所を持たないが、確認された変異種に関する情報提供はあったのか、なかったのか。情報提供されていたのであれば、市長はなぜ同報無線でそのことを市民に伝えなかったのか。県内で保健所を持つ自治体とそうでない自治体に差があるのは公平ではないと思うが市当局の見解はどうか。</p> <p>⑧ 新型コロナウイルス感染症について富士保健所長、富士市長、富士宮市長による富士医療圏域のトップ協議等が行われているのか。</p> <p>⑨ 富士医療圏域の両市長は、現状とその対応策等を共同して両市民に伝えるべきではないか。両市長の共同姿勢が両市民の不安を和らげるのではないか。あわせて、両市長による富士医療圏域の医療従事者に対する感謝のメッセージを発することを提案するがどうか。</p> <p>⑩ コロナ禍を機に、富士医療圏域の医師の少ない現状を改めるために富士市立中央病院・富士宮市立病院・共立蒲原総合病院の3公立病院の在り方研究会などを設置することを提案するがどうか。</p>		市長 副市長 病院長 関係部長

発言 順序	18	議席 番号	17	氏名	稲葉晃司 議員	2/2
発言項目		要 旨				答弁者
2	富士宮消防団の環境 について	<p>⑩ 公立病院の経営改善策の一つとして富士市立中央病院と富士宮市立病院との統廃合のことについて触れてきたが、これだけ新型コロナウイルス感染症が蔓延している中で感染症対策を展開していくうえで、富士医療圏域において、公立病院は分散しているほうが得策なのか、否か。病院長の見解を伺う。</p> <p>(1) 静岡県が運営する消防学校において、年間に何回か消防団の研修が実施される。このようなコロナ禍でも研修は行われたが、新型コロナウイルス感染症対策といっても席を空けて座る程度で、食事の際に仕切りがなく、実際に参加して、これによりクラスターが起きたらと不安を感じた。また、訓練は宿泊で行われることから、せめてコロナ禍の際には、座学は各自治体の消防職員から学び、実科訓練のみを消防学校で学ぶように静岡県に働きかけをしていただけないか。ぜひとも消防団員を守るうえで考えていただきたいがいかがか。</p> <p>(2) 消防団員の拡充策について、芝川町との合併により消防団員の定数が810人となったが、これまでに定数を満たした年度はないと聞いている。この状況を市当局はどのように考えているのか。これまでの取組はどのように行われてきたのか。効果が現れていないことについて、どのように改善していくのか。 また、消防学校ではドローンが訓練用として配備されているが、その訓練では触れるだけで、実際の火災現場において生かすことは難しい。そこで、富士宮市の消防団員拡充策の一環として富士宮市独自の消防団を対象としたドローン講習会を行うことを提案する。これにより消防団員の入団を促すことが効果的であると思われるがいかがか。</p> <p>(3) 本年4月富丘交流センターが供用開始することにより富丘公民館が取り壊されるが、取り壊す前に富丘公民館を活用した火災消火訓練を消防団本部、もしくは地元消防団と連携した訓練に活用することは消防団における効果的な実践に向けた訓練にもなり市民の生命財産を守る消防団員の命を守るためにも効果的な取組と考えるがいかがか。</p>				市長 副市長 関係部長